

三豊フレンドリーツアーで児童来町 地元小学生と交流

7月29日から3泊4日の日程で、相互交流を行っている香川県三豊市の小学生が来町し、地元小学生と交流を深めました。

訪れたのは、「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」の小学6年生14人と引率者3人の総勢17人。

滞在中には、開拓記念碑の拓土創始之碑や火山科学館、洞爺湖芸術館などを見学。カヌーやジャガイモ堀りなども体験し、洞爺湖町での短い生活を満喫しました。

30日には、洞爺夏まつりに参加し、練り歩く太鼓台

などを見学。あらためて自分たちの故郷との関係の深さを実感していました。



仲良くじゃがいも堀り体験を行う地元小学生と三豊市の小学生

7月30日洞爺夏まつりが、とうや水の駅を主会場に行われました。

午前中には、幼児たちが、羽織、袴で着飾り、メイン通りを歩く稚児行列が行われ、引き続きとうや水の駅広場で、地域の繁栄を祈願する聖徳太子祭が挙行されました。

午後からは、洞爺中の吹奏楽演奏やカラオケ大会などがステージで繰り広げられ、お祭りを盛り上げました。夕方からは、太鼓台や洞爺音頭、とうや湖踊る社中によるYOSAKOI踊りなどのパレードが中心街を練り歩き、町民の目を楽しませました。

洞爺の夏を彩る 洞爺夏まつり開催

姉妹都市箱根町から「箱根町親善訪問使節団」が、8月1日から



記念の植樹を行う洞爺湖町と箱根町の中学生

2泊3日の日程で、洞爺湖町を訪れました。来町したのは、箱根町中学生6人と引率者2人の総勢8人です。

歓迎式では、森副町長が「地元の中学生と交流し、良い思い出をつくってください」と挨拶。使節団を代表して酒寄幸弥くん（箱根中）が「洞爺湖町の良い所を見つけ出して、箱根町に生かしていきたい」と意気込みを語りました。

滞在中は、ホタテ養殖の見学やカヌー体験などで交流を深め、夏休みの楽しい思い出として胸に刻まれました。

箱根中学生来町 夏休みの思い出刻む

永遠の平和誓う 平成28年度戦没者追悼式

平成28年度の戦没者追悼式が、洞爺地区と虻田地区の両地区で行われ、戦没者の冥福を祈りました。

8月3日あぶたふれ合いセンターで開かれた虻田地区追悼式では、23人が参列。

式典では、真屋町長が「世界の恒久平和を願うとともに、住みよいまちづくり目指し、力強く歩んでまいります」と式辞。続いて北海道知事や洞爺湖遺族会会長らが追悼の言葉を述べ、参列者全員で菊の花を捧げました。虻田地区に先立って、洞爺地区でも7月22日追悼式が忠魂碑前で行われ、参列した33人が、戦没者を追悼しました。



戦没者の冥福を祈る遺族の皆さん

まちのわだい

